

つながりがみつかる！

つながりがはじまる！

Twitter★

[http://twitter.com/#/center\\_i](http://twitter.com/#/center_i)

いちのせき市民活動センター

ニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

2012 FEB Vol.10

3



3.11 から一年、心よりご冥福をお祈りいたします。

# 川崎まちづくり協議会

ビジョン策定の話合い支援をしています。

川崎まちづくり協議会は、住民自らが地域課題を考え行動することにより、地域の良さを次の世代に継承し、明るく、住みよい、豊かな川崎地域のまちづくりに取り組むことを目的として平成23年3月1日に設立されました。一関市の協働のまちづくり施策における「地域協働体」の先駆けの取り組みです。同協議会については、「sea21.com」でお知らせしていますが、今号では、その後の経過についてお知らせします。

平成23年度から平成24年度の2カ年で川崎まちづくりビジョンを協議会で策定し、その後、川崎支所へ提案、平成25年度に川崎支所総合計画への反映が予定されています。最終的に住民側のビジョンと行政側のビジョンをマッチングし、相互理解のもとにまちづくりを進めていく合意点を創ります。

これまで月1回の全体会と議会を開催し、川崎地域の将来構想、合併してからの川崎を振り返り、課題探しをしました。

■これからは夢を自分達で描いていい！

地域づくりを進める上で重要なことは、明確なビジョンを持つことです。目指すべき「まち」の姿を明確にしていないと、どんな取り組みをしても続かなかったり、停滞したりします。これまでは、これやりたい！あれやりたい！の興味本位の事業や予算獲得のための事業の組み立てが主でした。そのため、継続しているものもあれば、あれは、どうなったかな？という事業もあります。向かうべきビジョンが明確になっていないと継続する苦勞、資金難を理由に、必要な事業であっても、自然消滅傾向になることも…。今後、そうならないためにも、ビジョン

を策定するために、将来の川崎が「こうなっていたらいい」姿を描く議論をしました。

一人ひとりが描く理想社会は違いますが、しかし、認め合いながら意見整理をすることで、協議会としての意見に。こんな夢物語を語って何になるんだ！もっと現実的なことを話したい！という声もありましたが、「これまでは、住民は夢を与えられてきた。けど、これからは、こうやって自分達で夢を描いていいんだね」と発言もあり、明日の川崎に住民主体の姿が垣間見えました。

■見えてきた！川崎の課題

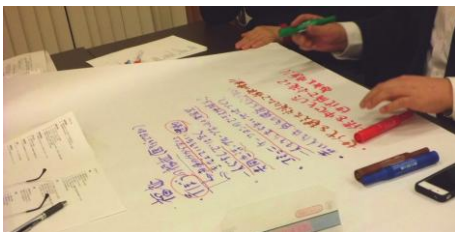
合併後、川崎のまちやまちづくりが、どう変化したかを振り返りながら、今の課題を抽出しました。川崎のまちの大きな転換期は、合併ではなく、平成15年の北上大橋の開通によるものでした。国道284号線の整備により国道沿いの発展など基盤はできたものの、その後の戦略に至らなかつた。結局、個々の想いだけで、市民の声として政策や市民活動に至らなかつたのです。その後、合併により地元行政職員の異動、人員削減など住民と行政との接点が減り、互いに見えない存在になってしまったのです。少子高齢化は、現実的な課題ではあるものの、よりよい地域づくりをするために、行政と住民との間に溝が生まれ、対話ができないことが課題と考えられます。

■地域づくりビジョン素案まであと少し

将来の川崎を描き、今の課題を整理しました。残るは、将来像に近づけるために、課題をどう解決するか？そのために

住民は、どう動くべきか？を事業計画としてまとめていきます。その後、小中学生アンケート項目の反映、パブリックコメントなどを経て、10月のビジョン完成を目指します。

話し合いの様子



## 地域協働体

一関市協働推進アクションプランで市内31公民館の管轄区域を基本に、地域協働のまちづくりを市民が主体となって進めるための組織。川崎町は、人口約4000人、1公民館の地域なので、町全域を網羅する地域協働体です。

2

## センターのやっていること

川崎まちづくり協議会

## 今月の表紙

4

### 特集

みちのくワークショップフォーラム 2012

一関市藤沢町から川崎町へ続く登り坂にある「安全地藏」。地域の人たちが安全を願って「縄文野焼き祭り」で制作したもの。お花や雪よけなど、細かい配慮がしてあり、安全への願いが感じられます。

5

### 特集

みちのくワークショップフォーラム 2012

## 一関市内の NPO 法人

一関市内で 27 法人が活動中です。

- 1 藤沢町ボランティアセンター
- 2 北上川流域河川生態系保全協会
- 3 ケアセンターいこい
- 4 須川の自然を考える会
- 5 レスパイトハウス・ハンズ
- 6 一関文化会議所
- 7 一関ケアセンター
- 8 ワークハウス雲
- 9 里山自然学校 はずみの里
- 10 全国地域学習振興会
- 11 北上川サポート協会
- 12 グリーンハート
- 13 いわい地域支援センター
- 14 アートで明るく生きるかわさき
- 15 障害者への偏見と差別をなくす会
- 16 サン・スマイル
- 17 ねこの手クラブ
- 18 いわてコミュニティファンド
- 19 千厩まちかどケアセンター
- 20 いわて発達生涯サポートセンターええ町づくり隊
- 21 いちのせき子育てネット
- 22 わかば会
- 23 防災サポートいちのせき
- 24 とーばんふうどくらぶ
- 25 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
- 26 あゆみ
- 27 子育て支援いっすね
- 28 ファンスポルト一関 (審査中)

6

## 一関愛育会

第 5 回音楽交流会

7

## 4 月のイベント・ボランティア情報

NPO 法人ワークハウス雲／ひこばえを守り育て隊  
一関世代にかける橋／NPO 法人レスパイトハウスハンズ  
パカポクラブ／NPO 法人全国地域学習振興会  
絵手紙同好会

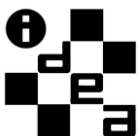
8

## 勝手に紹介★地域のあれこれ

藤沢町 藤まんじゅう／キリシタンの里

## いちのせき市民活動センター

〒021-0881  
岩手県一関市大町 4-29  
Tel&fax:0191-26-6400  
Mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp



## いちのせき市民活動センター情報誌 idea

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

## せんまやサテライト

〒029-0803  
岩手県一関市千厩町千厩字町 149  
Tel:0191-48-3735 Fax:48-3736  
HP:center-i.jimdo.com



## ロゴマーク

「一関・川崎・千厩・大東・花泉・東山・藤沢・室根」の 8 つの地域と 1 つのひろばを表しています。

# フォーラム2012



全体ワーク  
「笑ってスッキリ健康講座」  
オリジナルスマイル研究所  
小山田 聖子さん



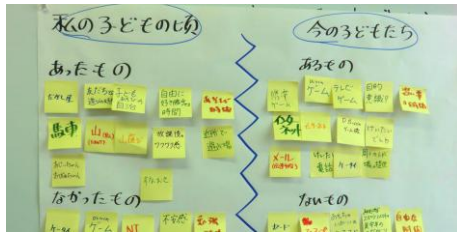
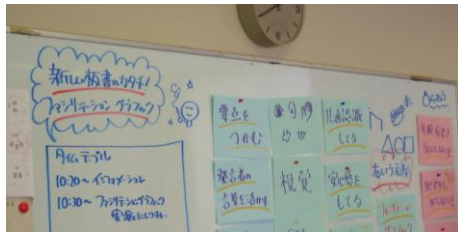
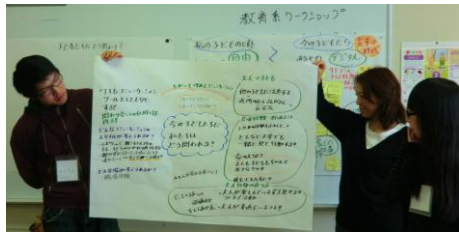
教育・心理系ワーク  
みんなで創ろう「まなびの共同体」  
NPO法人ペアレント・プロジェクト・ジャパン  
玉山芳幸さん・熱海アイ子さん



まちづくり系ワーク  
「特産品開発ワークショップ」  
NPO法人いわてNPO-NETサポート  
菊池 広人さん



ファシリテーショングラフィック  
「新しい板書のカチ!ファシリテーショングラフィック講習」  
NPO法人あきたNPOコアセンター  
吉田 理紗さん



ワークショップ? ファシリテーション? この言葉、耳にする機会が増えました。しかし、ワークショップって何? ファシリテーションって何? :言葉は聞くけど学ぶことって無いね。そう、どこに行けば学べるんだろう? みちのくワークショップフォーラムを終えてから、数日経って耳にした会話は、悔しかったです。この企画を、もっともっと広められなかったこと... ワークショップという言葉が、ここ東北でも一般的になってきました。まちづくりの場面はもちろん、教育や環境、福祉やアート、そして自己啓発など、様々な分野で活躍している方々がいます。ワークショップのスキルアップや、いつもと違った分野のワークショップに触れる場が、みちのくワークショップフォーラムだったのです。一関で初めて開催したフォーラム。もともとは、昨年度開催する予定でしたが、東日本大震災により中止となり、一年越しの実現。あの日は、まさにフォーラムに向けた準備をしている日でした。

あれから1年。  
ワークの達人たちが一関に揃い、拙い周知を聞きつけ、集まってくれた参加者の皆様。学びへの前向きな姿勢が眩しい光となっていました。あいにくの大雪でしたが、フォーラムの会場だけは、熱気ムンムン。  
クロージングワークの満足度の高さは、次回につながるものでした。次回は、十一月に開催する予定です。

# みちのくワークショップ

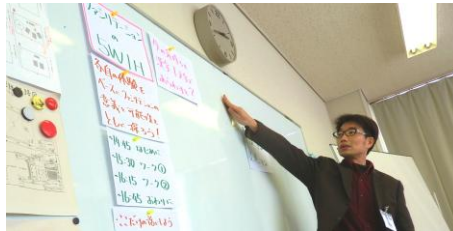
心理系ワーク  
「3.11から1年～会話から対話へのエンカウンター～」

ジン・リキファシリテーション  
後藤 真さん



ノンジャンル  
「ファシリテーションの5W1H」

NPO法人日本ファシリテーション協会  
徳田 太郎さん



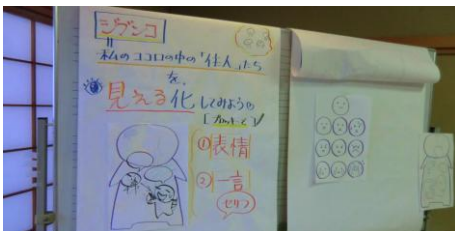
まちづくり系ワーク  
「ひとりよがりの企画大会」

株式会社カントリー・ラボ  
宮崎 道名さん



「クロージングワーク」  
一日の振り返りです。

NPO法人風・波デザイン



午後、一年に一度、一関で開催する「みちのくワークショップフォーラム」を新たな価値として、ワークの達人が集まる一関として定着するよう継続していきます。

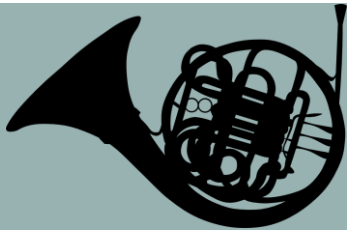
午前・午後の個別ワークは3種類から1つを選択して受講する仕組みのため、隣のワークにも行きたいけど、悩んだ末、こっち…という受講者も多く、学びたい欲がかき立てられていたようです。また、長いように感じる8時間のフォーラムも、充実度により時間が過ぎるのもあつと言っ間、心地よい疲れを感じました。

株式会社カントリー・ラボの宮崎道名さんのワーク「ひとりよがりの企画大会」に参加した笹田歩さんは、「仙台市から参加したので、見慣れない顔が多く、新鮮だった。また混ぜてほしい」と感想を語ります。

2ページに渡りワークの様子を写真でお伝えしていますが、ワーク毎に雰囲気は違い、しかし、新しい学びの連続に1日は、あつと言っ間に過ぎました。

笑いの起きるワーク、涙が出るワーク、ほんわか心があつたかくなるワークなどなど、場のデザインによって異なります。それが、ワークショップの醍醐味でもあり…、ワークショップに答えなどありません。ファシリテーターと参加者で創りあげる楽しさがあります。

— 心地よい疲れ —



第5回

# 音楽交流会



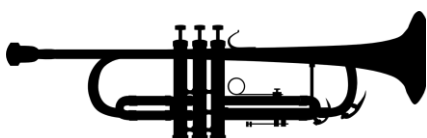
3月3日、一関市藤沢町の縄文ホールにて、一関愛育会主催の音楽交流会が行われ、市内の障がい者施設の方々が集まり、色んな歌やダンスを披露しました！今まで練習してきた成果を思う存分発揮している皆さんの姿が、とても楽しそうに見えました☆フィナーレでは会場内はスタンディングオーベーション！大盛り上がりでした♪



音楽活動の発表で  
新たなつながりを——



センターからは、千葉と岩渕がボランティアスタッフとして参加しました。会場の装飾と受付、入退場の誘導を担当。初めての体験に二人とも終始挙動不審…（笑）しかし、目立ったハプニング等も無く、無事にイベントを終えることが出来ました！！来年の交流会も楽しみです！



一関愛育会 菅原久子さん

来年は、他団体の方をお呼びするなど、関係者だけではなく、一般の方々も呼べるような催しも考えています！



NPO法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」(東山町長坂字町 303) で毎週火曜日・金曜日の 10 時から 13 時の間、簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。☎0191-47-3335/090-7073-4985 (渡辺)



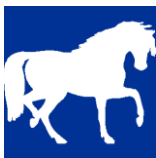
ひこばえを守り育て隊では、沿岸部より避難されている方と内陸部の方の交流の場「ひこばえ交流会」にて、被災された方々と一緒に話ができる、傾聴ボランティアを募集しています。毎月第 1 日曜日 (4 月) は) 10 時から 12 時まで、山目公民館で行います。☎0191-21-3086



一関世代にかける橋では、集めることで困っている人の役に立てる回収ボランティアを募集しています。回収しているものは①書き損じハガキ ②ペットボトルのキャップ ③未使用歯ブラシ などです。☎0191-23-9721



NPO法人レスパイトハウス・ハンズでは、赤荻ハンズ (一関市赤荻字上袋 75-5) にて、子ども達の遊び相手や、簡単な学習のサポートができるボランティアを募集しています。昼食と運動可能な服装が必要で、毎週土曜日もしくは長期休業中の 10 時~16 時に来れる方。☎080-6024-5820



パカポコクラブでは、佐々木牧場 (花泉町金沢字有壁 13-1) にて、しょうがいをもった子どもたちが馬と触れ合う事のできる「しょうがい者乗馬会」のサポートをしてくれるボランティアを募集しています。馬が好きなら誰でも参加できます。日時/毎月第 4 日曜日 ☎0191-82-5584



NPO法人全国地域学習振興会では、お子さんを対象に、小野寺塾指導ネットワーク (一関市宮下町 5-23) にて、そろばんの学習の基本を学べる、体験学習会を開催します。参加希望者は電話で申し込みをしてください。平日の 16 時から 17 時まで、料金は無料です。☎0191-23-5806



絵手紙同好会では、一緒にお茶を飲みながら、水彩絵の具を利用して絵手紙を書く仲間を募集しています。使用する絵の具は、お子さんの使用しなくなった絵の具でも大丈夫です。時間は平日の 9 時 30 分~12 時で、場所は勤労福祉センターです。年会費は 1000 円です。☎0191-52-2722



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報や、ボランティア募集の情報をお待ちしております。TEL&FAX 0191-26-6400 E-mail center-i@tempo.ocn.ne.jp

勝手に紹介

## 地域の あれ！これ！

こんにちは！徐々に春の足音が聞こえてきましたね♪  
春になったらお出かけする機会も増えそうです！

さて、今回、勝手に紹介するのは、藤沢町にある二つのお菓子です！まず一つ目は、作り始めて100年の歴史を誇る「藤まんじゅう」

このおまんじゅうは、「藤沢には名物が無いから、何か作りたい」という、初代吉田禎之助さんの思いから生まれたおまんじゅうです。又、第17回菓子大博覧会金賞受賞という輝かしい成績もあるんですよ！！現在は3代目まで続いており、今でも伝統の味を守り続けているのです！中は綺麗な白あんが入っています。本来おまんじゅうは蒸して作るものですが、この藤まんじゅうは焼いてあります♪

二つ目は、「クリシタンの里」

1640年（寛年17年）当時の藤沢町には約3万人のキリスト教信者がいたんだとか…！

その歴史をヒントに、このお菓子は作られたようです！  
ちなみに、この時代のキリスト教崇拝は禁止されており、信者は「隠れキリシタン」と言われ、仏教を崇拝するふりをして、こっそりとキリスト教を崇拝していたようです。そんな歴史が刻まれたクリシタンの里ですが、このお菓子はパイになっていて、中には栗が入っています！

ほかのスタッフにもこの二品を試食して頂いたところ…  
おまんじゅう→おまんじゅうの皮が美味しい！・おまんじゅう特融の甘すぎて重い感じがしない！・あっさりしていて、昔懐かしい（素朴な）味がする！

クリシタンの里→見た目が綺麗で、食欲が出る！・パイが柔らかくて食べやすい！バターの薫りが良い！・栗の甘さが活かしている！等々、好評のようでした☆

さあ！皆さんも、歴史あふれる藤沢の味を堪能してみませんか…？！

おまんじゅうのお求めは「吉禎菓子舗」さんへ。クリシタンの里のお求めは「青葉屋」さんへどうぞ！！



吉禎菓子舗  
外観 ←



青葉屋  
外観 ←



手前が「藤まんじゅう」  
後ろが「クリシタンの里」



